

平成25年度 東成区 区政運営の振り返り

☆経営課題ごとの取組実施状況☆

経営課題1 区民主体の地域経営・公共サービスの推進

多様な世代の区民や地域団体、NPO*、企業などが地域コミュニティに参画し、地域課題の解決、地域の維持・発展に取り組む、継続・発展可能な地域経営の仕組みとする必要がある。（*NPO（エヌ・ピー・オー）：Non Profit Organaization の略。法人格の有無や活動の種類とは関係なく、自発的に非営利の市民活動を行う民間の組織。日本語では「民間非営利組織」と訳されています。）

○主な戦略・具体的な取組内容

【1-1 区民主体の地域経営の仕組みの構築】

若い世代やマンション住民をはじめ、多様な世代が参画して、区民が地域を経営し、地域の課題解決・発展のために活動する小学校下をベースとした組織の仕組みをつくる。

①地域活動協議会*に対する財政的支援事業（予算額 17,491 千円）

（*地域活動協議会：校区等地域を単位として、様々な市民活動団体が幅広く参画し、開かれた組織運営と会計の透明性を確保しながら地域課題に取り組む、自律的な地域運営の仕組み）

業績目標

- ・ 地域活動協議会のうち、市の財政的支援を地域の実情に即して活用できていると感じているものの割合：平成26年度までに100%

取組実績

- ・ 区内全11校下の地域活動協議会に補助金を交付し、広く住民全般を対象とした市民活動が包括的に行われた。（業績目標測定は26年8月頃予定）

目標
達成**課題と改善策等**

- ・ 【課題】地域活動協議会の認知度を高めるため、各種媒体を活用した情報発信を行い、地域コミュニティ機能のさらなる向上を図る必要がある。
- ・ 【改善策】地域自らが情報発信を行い、周知する重要性を認識してもらうよう促す。区役所もホームページをはじめさまざまな機会を活用して、地域活動協議会の情報発信の取組みを強化する。また、引き続き、各地域活動協議会へ民主的で開かれた組織運営と会計の透明性を確保しつつ、活動内容を指定せず財政支援を行うことで、自律的な地域運営を促進し、地域コミュニティの機能を向上させる。

②自律的な地域経営の仕組みの支援〔予算額 1,000 千円〕

業績目標

- ・ 地域活動協議会への支援を中間支援組織の活用を図りながら行った校下：11校下
- ・ 周知・認知度向上プロモート*支援として補助金を活用した校下：5校下

取組実績

- ・ 中間支援組織を活用し地域活動協議会へ支援を行った：11校下
- ・ 周知・認知度向上プロモート支援として補助金を活用：6校下
- ・ ①宝栄地域活動協議会『エッセイ募集』
- ・ ②今里・③深江まちづくり活動協議会『広報紙（誌）の作成』
- ・ ④中道地域活動協議会『子どもをターゲットにまつり』
- ・ ⑤東中本まちづくり活動協議会『子どもターゲットの防災取組』
- ・ ⑥北中道地域活動協議会『ハロウィンパーティーの実施』

目標
達成

課題と改善策等

- ・ 【課題】主体的な地域運営を更に推進するため、地域活動協議会の周知・認知の向上と新たな担い手の確保が必要である。
- ・ 【改善策】事業の企画や運営を通じて幅広く人材育成を支援するため、地域の特性や実情に応じて、中間支援組織の活用を図りながら、引き続き初期プロモート事業実施を支援する。〔26年度運営方針に反映〕

（*プロモート：促進すること。奨励すること。）

③区政会議運営事業〔予算額 763 千円〕

業績目標

- ・ 区政会議の認知度：区民モニターアンケートで60%以上

取組実績

- ・ 区民モニターアンケート結果 46%
- ・ 全体会議の開催：2回、部会未開催

課題と改善策等

- ・ 【課題】区政会議に対する認知度が低く、部会も未開催。
- ・ 【改善策】区政会議の周知を強化するとともに、区民の関心を高めるため内容を公表し透明性を高める。また、部会を開催し、より具体的な区民の意見を収集する場を設ける。〔26年度運営方針に反映〕

【1-2 公共サービスの民間委託、情報流通・資金流通の仕組み構築による CB/SB*等の支援】

区事業を民間委託し、区民が福祉、教育、医療などの公共サービスを行い、収入を得られる事業化を支援する。また、地域活動協議会などの区民の組織や商業等の事業者など、区民が情報を掲載し、情報・活動資金を得られる仕組みをつくとともに、ボランティア活動の活性化を目的に導入する地域通貨により、区内で資金が流通する仕組みをつくる。

(*CB/SB:CB(コミュニティ・ビジネスの略):地域の住民が地域課題や要求の解決のために必要なサービスなどをビジネスの手法で提供する事業。SB(ソーシャルビジネスの略):市民が社会的課題や要求の解決のために必要なサービスなどをビジネスの手法で提供する事業。(CB/SB 共通) 営利目的でなく、地域の利益を増大させる事が目的。)

① 区民、市民が大きな公共を担う社会づくり提案制度事業〔予算額 1,200 千円〕

業績目標

- ・ 区民からの提案件数：3件以上

取組実績

- ・ 提案募集未実施
- ・ 学識経験者等との意見交換会、他都市事例調査、制度構築に向けての課題整理を実施

課題と改善策等

- ・ 【課題】任意団体との契約締結や選考過程における透明性の確保など、契約プロセスにおいて課題がある。
- ・ 【改善策】公平性・公正性・透明性の高い契約を行うためには、より綿密な制度設計の必要性があり、先進事例等を参考に制度を見直し、事業を再構築して実施する。〔26年度運営方針に反映〕

② 「おももりネット事業」を活用した高齢者・障がい者等支援セーフティネット*構築事業〔予算額 23,986 千円〕

業績目標

- ・ 有償ボランティアの活動件数 100件

取組実績

- ・ 福祉イベント（11月3日）での有償ボランティアの活動：229件
- ・ 有償ボランティア講座 参加者延84人。東成区ボランティア・市民活動センターと連携し、有償ボランティアの登録と先進的な団体への見学、情報収集を開始。

目標
達成



課題と改善策等

- ・ 【課題】有償ボランティア講座は定員を超える参加があり、区民の関心の高さが表れた。その新しい担い手となり得る人たちを、今後の有償ボランティアをはじめとした地域福祉活動に結びつける仕組みの充実が必要である。
- ・ 【改善策】区民ボランティア意識のさらなる醸成と、新たな担い手を発掘し、地域福祉活動へ結びつけていく。〔26年度運営方針に反映〕

(*セーフティネット:すべての人が安心・安全に暮らせる多層的・多元的な生活支援の機能やしきみ。地域の住民、事業者や団体、行政が相互に協力しあいながら、それぞれの役割を果たし、最低基準保障はもちろん、よりよい生活の実現をめざす多層的・多元的なしきみの形成が必要。)